

幼保一体化にかかる聖籠町の取り組み

～町のこども園の実践から～

平成 22 年 12 月 2 日

新潟県聖籠町長 渡邊廣吉
(全国町村会常任理事)

1. 行政から見た幼稚園・保育所一体化のメリット

- (1) 幼稚園における入園幼児が少子化に伴い減少し、施設に空き教室が目立ったが、一体化により解消された。
- (2) 保育園に対する保育ニーズが高まり、町立保育園での入園定数を大幅に超過し、新たな保育施設の整備の必要性が問われたが、一体化により解消された。
- (3) 幼稚園教諭と保育園保育士の免許制度を一体的に活用した人事管理が容易になった。
- (4) 幼保一体的な運営を実施したことから、結果として人件費や需用費などの行政コストの削減に繋がっている。

2. 幼保一体化に成功した理由について

- (1) 3 歳未満の乳幼児は、保育を基本として公立・私立で役割分担し、質の高い保育を専門的に保障され、3 歳以上の幼児は、公立施設による幼児教育を基本とし、質・量とも高い幼児教育と保育を保障し、義務化したこと。
- (2) 小学校区単位に設置されている「子ども園」に在住するすべての幼児に保護者の選択によって幼児教育と保育を保障したことから、保護者の子育てに対する問題意識を共有することができ、交流の機会が拡大されたこと。
- (3) 3 歳未満児は、保育に欠ける乳幼児に町が責任をもって公立・私立を問わず、待機児童を解消するため施設環境を整備していること。
- (4) 町の子育て支援施策が幼保の一体化を含めて総合的に実施されていることから、保護者のみなさんに安心と信頼が構築されてきたこと。
 - 例・・・子どもの医療費の助成(中学生まで)、出産祝い金助成、子育てに伴う予防検診や予防ワクチン接種助成など
 - 例・・・総合的に各々の行政分野が連携し子ども家庭相談支援ネットワーク事業を実施し、子育てに対する相談指導体制の取組みをしている
- (5) 3 歳以上のこども園の早朝・延長保育について低額な料金設定をしてきたこと。

3. 今後の課題について

- (1) 職員の労働条件の改善と研修体制の充実化、若い職員の共通意識の改善 等。
- (2) こども園の運営にあたっての指導要領や経営計画の在り方など、よりよい効果的な運営を目指し充実化を図る必要がある。
- (3) 長時間保育の幼児に対する幼児教育と保育の内容充実・・・幼児の指導内容の改善
- (4) 幼保一体化に伴い 3 歳以上の入園幼児の増加により、あらたな施設整備の必要性が出ている。
- (5) 3 歳以上の幼児が入園している「こども園」で、幼児教育、保育に対する保護者と職員の問題意識に乖離があり、等しく問題意識を共有し連携していく必要性を感じている。
(現場の声)

聖籠町における幼児教育・保育の概要

1. 幼保一体化に至るまで

(1) 幼稚園の沿革

昭和43年5月 町立蓮野幼稚園 設立（蓮野小学校区）

昭和44年4月 町立蓮潟幼稚園 設立（山倉小学校区）

昭和53年4月 町立亀代幼稚園 設立（亀代小学校区）

(2) 保育園の沿革

平成9年4月 町立聖籠保育園 設立

平成12年4月 私立はじめ保育園 設立

平成21年4月 私立まごころ保育園 設立

平成23年4月 私立まごころ第2保育園設立予定（建設準備中）

昭和39年10月 集落立次第浜保育所を設立

昭和42年4月 村立次第浜保育所に改称

昭和46年4月 村立次第浜幼稚園創立

昭和53年4月 亀塚浜児童館・網代浜児童館が次第浜幼稚園に統合

(3) 幼保一体化による町立こども園の設立

平成17年4月から公立の幼稚園及び保育園を町立こども園に改称

蓮野幼稚園 → 蓮野こども園

蓮潟幼稚園 → 蓮潟こども園

亀代幼稚園 → 亀代こども園

聖籠保育園 → 聖籠こども園

◆幼保一体化の経過

○平成13年12月議会

聖籠町乳幼児保育計画調査委員会条例を制定
調査委員会を設置し調査・審議を開始した

○平成16年12月議会

町立幼稚園条例一部改正 名称の改正「こども園」
町立保育園条例一部改正 名称の改正「こども園」

○平成17年1月

聖籠町乳幼児保育振興計画を策定
保護者等に説明会を開催し理解を得る

○平成17年4月 幼保一体化開始

幼稚園 } 町立の幼稚園・保育所すべてを「こども園」に改称、運営を開始して現在に至る。
保育所 }

- ・児童福祉法に基づく保育を提供する公立の保育所は「こども園」、私立の保育所は現状の名称で運営し、3歳未満児を対象としている。
- ・学校教育法に基づく幼児教育を提供する公立の「こども園」は3歳以上就学前児を対象としている。

2. 幼保一体化によって目指したもの

○聖籠町乳幼児保育振興計画（抜粋）

3 基本方針

児童福祉法による保育園と学校教育法による幼稚園を一元化し、総合施設化することにより乳幼児の保育及び教育を連携し、保護者からの委託（選択）に応えた「こども園」の効率的な運営を目指します。

①幼児と親への施策展開

- ・同じ園区の3歳～5歳児が「こども園」に一堂に会することから保護者同士・保護者との関わり合いを大切にしたい運営

②総合的子育て支援策の展開

- ・早朝、延長等保育時間のパターンを選択できる体制 ほか

③カリキュラムの策定

- ・「こども園」にあったカリキュラムの作成

④障害児保育の充実

- ・関係機関や専門機関等と連携を密にし、同じ小学校区内で一緒にふれあい、学び合える環境。

3. こども園 概要

○2歳児までは保育園で保育をし、3歳児以降は、幼稚園で教育と延長保育を実施。保育園の機能も持っている幼稚園事業を展開している。

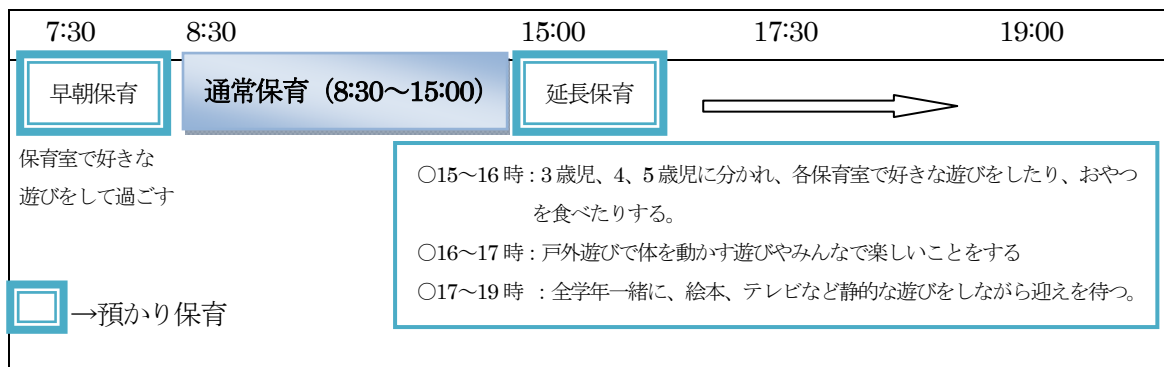
	聖籠こども園	蓮野こども園	蓮潟こども園	亀代こども園
保育内容	保育に欠ける乳幼児保育を基本	幼稚園教育（通常保育）をベースとした教育方針に基づいた保育	幼稚園教育（通常保育）をベースとした教育方針に基づいた保育	幼稚園教育（通常保育）をベースとした教育方針に基づいた保育
入園資格	0～2歳児の乳幼児(※)	町内に在住する3～5歳児の幼児（蓮野小学校区）	町内に在住する3～5歳児の幼児（蓮潟小学校区）	町内に在住する3～5歳児の幼児（亀代小学校区）
保育時間	■通常保育 8:00～16:00 ■延長保育時間 7:30～19:00	■通常保育 8:30～15:00（今までの幼稚園の保育時間） ■希望選択保育 長時間保育 8:30～17:30（通常保育+2時間30分） 早朝保育 7:30～8:30 延長保育 17:30～19:00		
現員数	73名	143名	141名	141名

（平成22年4月1日現在）

(※)聖籠町乳幼児保育振興計画を策定時は、3～5歳児の入園枠も設けていたが、希望者が集まらなかったことから、現在は0～2歳児のみの入園を実施している。

（参考） 私立はじめ保育園 （35名 定員数30名）
私立まごころ保育園 （36名 定員数30名）

★ こども園の一日の生活の流れ



○こども園の預かり保育状況（区分2～6が預かり保育）

（単位：名）

保育区分	蓮野こども園	蓮潟こども園	亀代こども園	割合
区分1(8:30~15:30)	8 3	9 1	9 1	62.4%
区分2(8:30~17:30)	2 2	1 7	2 1	14.1%
区分3(8:30~19:00)	3	2	4	2.1%
区分4(7:30~19:00)	1 6	8	1 6	9.4%
区分5(7:30~17:30)	9	1 6	4	6.8%
区分6(7:30~19:00)	1 0	7	5	5.2%
合計	1 4 3	1 4 1	1 4 1	100.0%

（平成22年4月1日現在）

○職員体制について

早朝保育・・・担任が交替で担当する（超勤手当） パート 1名

延長保育・・・正規預かり保育担当者 1名

10時20分～19時5分勤務 パート2名

★こども園になって～保護者、職員からの声～

- ・教育的環境と保育的環境の両面があり、保育の質が高くなった。また、保護者が安心して働ける。
- ・長期休業中(夏・冬・春休み)も預かり保育があり、保育所機能が補完されている。
- ・長時間保育でも保育料が低額である。
- ・小学校区ごとに通える施設があり、登園が楽になった。
- ・無理なく小学校へ入学できる。